



日本共産党 品川区議会議員

Japanese Communist Party

区政報告

2023年1月29日
No. 361

安藤たい作

バックナンバー

品川 安藤たい作ニュース

検索

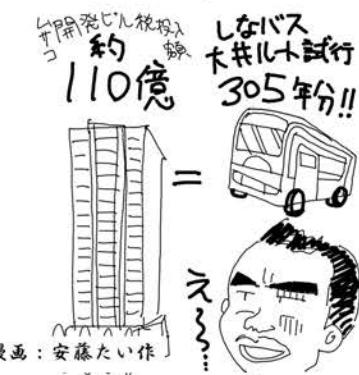
事務所 西品川 3-16-3 TEL/FAX 3491-3230

twitter

@andotaisaku



比較してみた



漫画：安藤たい作

コミバスのルート拡大・値下げ求める陳情

自公維らが反対 私は賛成討論を行いました



コミバスルート拡大・値下げを求める陳情の採決の様子。共（6）ネ（3）の9名が賛成。自（12）公（7）イノベ（4）品改（2）維（2）無所属の高橋（し）・横山・せおの各氏30名が反対。*議長は採決に加わりません

毎回、区議会には様々な課題や要求で活発に請願・陳情が寄せられます。所管の委員会で審査され、最終的には本会議で議決されます。が、その際、賛同者を増やすことを目的に、賛成・反対の意見を表明する「討論」を行うことができます。今回共産党は石田（ち）区議が補聴器購入費助成、のぞて区議が区営住宅建設、私・安藤がコミバスルート拡大と値下げ、鈴木（ひ）区議がリニア中止等を求める請願・陳情に賛成討論を行い、各党に態度を問いました。各党・議員の態度は裏面の表の通り。

越年となつた22年第4回定例区議会は12日に最終本会議。共産党はコミバス、補聴器、区営住宅、リニアの請願・陳情へ賛成討論を行い、自・公は全て反対し区民の願いに背を向ける姿勢が明らかになりました。改選前の最後の議会となる23年第1回定例会は2月21日から始まり、私・安藤も一般質問を行います。

ニュースへのご感想も
お気軽にお寄せ
ください

区議控室 TEL 5742-6818/FAX 3778-3088
事務所 西品川 3-16-3 TEL/FAX 3491-3230
taisakuando19740217@gmail.com

*当ニュースは、議会活動および区政に関する政策等の広報活動に要する経費等をまかなう「政務活動費」で発行されています

2022年第四回定例会における各会派・議員の請願・陳情への賛否

	自民 (12)	公明(7)	共産(6)	イノベ *立憲2人含む (4)	ネット(3)	品改(2)	維新(2)	高橋(し)	横山	せお
補聴器購入費助成制度を求める請願	X	X	O	X	O	X	O	X	X	X
区営住宅の新規建設についての陳情	X	X	O	X	O	X	X	X	X	X
コミュニティバスの運行経路の拡大を求める陳情	X	X	O	X	O	X	X	X	X	X
リニア中央新幹線シールドマシン故障の原因について教室型住民説明会の実施を求める陳情	X	X	O	X	O	X	X	X	X	X
武蔵小山駅前再開発地域の環境改善を求める請願	X	X	O	X	O	X	X	X	X	X

私が賛成討論を行った「コミュニティバスの運行経路の拡大を求める陳情」は、現在試行運行が始まっているコミュニティバスの更なる充実を求め、①大井町から臨海斎場へ行けるルートや、大井町から区役所前を通り大崎、五反田、目黒をつなぐいわゆる大崎ルートの運行②料金を100円に引き下げる。以上2点を求める内容です。賛成討論のポイントは、下の図みの通りです。

自民は「陳情の採択が最終的には議会の総意として結論になつていくため、一部のルートを推進するのはやるべきでない」などと不採択としましたが、区民の願いを受け止め、区がやらないからこそ、陳情を採択し、その実施を迫ることが議会の役割ではないでしょうか。



賛成討論の全文は
コチラから読めます。



- ・区民がいつでも自由に安全に移動することは、健康で文化的な生活を営む上で欠かせない。コミバスは移動権の保障を位置づけるべき。
- ・区は「区が運行するバスであっても限られた財源の中で、税金で実施している事業」と繰り返し、百円への料金引き下げや収支率のみの廃止基準の撤回を拒否するが、区民の権利保障のコミュニティバスは、税金を使うべき事業。財源もある。区の財政規模は年間1900億円、税収も毎年数十億増収。例えば武蔵小山駅前パルム地区一棟に投じられた110億円の税金は、大井ルートの試行運行の年間3600万円のこの305年分にあたる。
- ・港区は9ルート、運賃は百円とした上に70歳以上の高齢者、障害者、妊産婦等は独自に無料。渋谷区は4ルートで料金は百円、「障害者や高齢者の利便性向上が目的の福祉施策」と位置づけ、事業廃止の基準となる収支率は設定していない。

